

# 協同の叢見

きょうどうのはっけん



第 260号 2014.7

特集

## 国際協同組合の現状 (韓国訪問をきっかけとして)

◎団長挨拶 アジアに新しい協同労働運動を 永戸 祐三

◎日本労協連韓国訪問サマリー 岡安 喜三郎

◎訪問先報告

コムウィン／京畿道自活センター協会／日韓懇談会／ソウル市長懇談／  
ソウル市社会的経済課懇談／ソウル特別市社会的経済支援センター・  
ソウル地域協同組合協会訪問／韓国代案労働者協同組合連合会創立総会

◎日韓のかけはしとして カンネヨン(姜乃榮)

■連載

・協同組合制度の爆破解体か、それとも希望への脱出か(1)

－ICA第3原則に関するガイダンス・ノート第1稿の検討－ 島村 博

・自然エネルギー・協同組合方式の探求⑦ インドネシアの小水力発電と社会企業

藤本 穰彦/島谷 幸宏

一般社団法人 協同総合研究所

JAPAN INSTITUTE OF CO-OPERATIVE RESEARCH

題字／藤原 桂州

## ■ 巻頭言

- 日本労協連から学び、韓国労協連が目指すこと  
 ..... ソンインチャン(宋寅昌)(韓国労協連会長) 2

## ■ 特集 国際協同組合の現状(韓国訪問をきっかけとして)

- (1) 団長挨拶 アジアに新しい協同労働運動を  
 - 韓国自活センター・韓国労協連と力強い連携を目指して - ..... 永戸 祐三(日本労協連理事長) 6
- (2) 日本労協連韓国訪問サマリー ..... 岡安 喜三郎 副団長(協同総合研究所理事長) 8
- (3) 訪問先報告  
 ・ コムウイン ..... 木村 協子 相馬 綾香 15  
 ・ 京畿道自活センター協会 ..... 相良 孝雄 20  
 ・ 日韓懇談会(韓国の自活事業と日本の自立支援制度) ..... 斉藤 栄治 池田 明彦 29  
 ・ ソウル市長懇談 ..... 相良 孝雄 35  
 ・ ソウル市社会的経済課懇談 ..... 相良 孝雄 39  
 ・ ソウル特別市社会的経済支援センター・ソウル地域協同組合協会訪問 ..... 柿村 優実 48  
 ・ 韓国代案労働者協同組合連合会創立総会 ..... 田嶋 康利 53
- (4) 参加者からの感想文 ..... 56  
 藤田 徹/上平 泰博/木村 協子/石井 清孝/五十嵐 秀久/池田 明彦/齋藤 栄治/成田 誠/  
 杉本 恵子/相馬 綾香/奥 治/池田 忠弘/柿村 優実/緒方 満/相良 孝雄
- (5) 日韓のかけはしとして ..... カンネヨン(姜乃榮)(韓国訪問団コーディネーター兼通訳) 78
- (6) 韓国地域自活センター協会との「包括的協同協定」締結に向けた協議を開始  
 ..... 田嶋 康利(日本労協連 事務局長) 84

## ■ 連載①

- 協同組合制度の爆破解体か、それとも希望への脱出か(1)  
 - ICA第3原則に関するガイダンス・ノート第1稿の検討 -  
 ..... 島村 博(協同総合研究所 主任研究員) 87

## ■ 連載②

- 自然エネルギー・協同組合方式の探求⑦ インドネシアの小水力発電と社会企業  
 ... 藤本 穰彦(九州大学大学院工学研究員 特任助教/会員)/島谷 幸宏(九州大学大学院工学研究員 教授) 94

- 労協連だより ..... 田嶋 康利 101  
 ■ 研究所だより ..... 楠野 晋一 107

## 巻頭言

# 日本労協連から学び、韓国労協連が目指すこと

ソン・インチャン(宋寅昌)(韓国労働者協同組合連合会 会長)

6月17日から19日に韓国訪問をしました。その際に、韓国労働者協同組合連合会のソン・インチャン会長の出身組織である、「Happy Brigde」に訪問しました。その際に、4月19日に創立された韓国労協連が目指すことなども含めて、話をいただきましたので、紹介をします。(2014年6月18日訪問時のインタビューより。通訳はカンネヨン氏。原稿データは相良が作成しました。)

皆さん、ようこそいらっしゃいました。日本労協連からはここに来られることは初めてだと思います。逆に遠いところでは今まで「スペインのモンドラゴン」「フランス労協連」がここに訪問をしていただきました。日本は近い国であるので、今後、頻繁に交流ができればと思います。今まで地域自活センターとは、日本労協連は交流してきましたが、韓国労協連もできたし、これからは韓国労協連と日本労協連の交流も進めていきたい。今回は、その第1歩として、協力の場をつくれればと思います。

昨年、日本労協連に視察にいきましたが、日本労協連を考えると、私たちと比べると大人と出会っている感じがします。なぜそ

う思ったのかといえば、長年かけて、自分たちの原則やアイデンティティを守りながら、いろんな活動をしてきたことからです。4月に創立した韓国労協連は日本から学ばなければならないと感じています。まだ韓国労協連は初期の段階なので、一定期間は交流といっても、韓国側が一方的に学ぶ姿勢で、交流をする形となりますが、多くのことを教えていただければと思います。

韓国には自活企業、社会的企業、そして労働者協同組合もあるので、それぞれが少しずつ性格が違うという状況になっています。社会的企業もふまえて、労働者協同組合方式で進めていきたいと考えています。韓国労協連は、韓国労協連としての独自の原則を立てていこうと考えています。韓国の労働者協同組合の伝統的な支持基盤である、自活企業や社会的企業と一緒に、公共領域の市場領域での拡大をしていきたいと思っています。

そして労働者協同組合は、韓国の大きな社会問題である「青年の失業問題」について解決する中心的な柱として、労働者協同組合方式で、仕事を起こすことを行っていきたいと思っています。特に若者の仕事おこし

に向けて考えているのは、若者が協同組合方式で、市場で競争力を高めるためにどういうことが必要なのか。これを協同組合方式で行ったときに、どのような強みがあるのかということデザインすることに関心があります。

今、話をしたことをまとめますと、私が韓国労協連として行いたいことは3つあります。

1、韓国労協連の原則をつくる。日本の労協連からアドバイスをいただき学びます。

2、日本労協連が経験してきた公共領域での活動や事例を学ぶながら、韓国でも多くの事例をつくっていききたい。

3、若者の仕事づくりに向けたビジネスモデル。競争力を高めることを日本労協連とも議論しながらつくっていききたいと考えています。

協同組合は、信頼をもとに発展しないといけないので、着実にやっていきたいと考えています。

協同総合研究所は、労働者、市民が自らの力で自律的に仕事と生活の豊かさを求める活動を支援するシンクタンクです。わが国にも「大量失業の時代」が到来する中で、労働者、市民が自主的に仕事おこしをする労働者協同組合(ワーカーズコープ)への注目が増えています。研究所は、わが国唯一の「労働者協同組合」に関する専門研究機関です。



研究活動をネットワークし、蓄積された情報を資源として支援する「協同の発見」を会員のみなさまに毎月お届けいたします。